

令和4年度

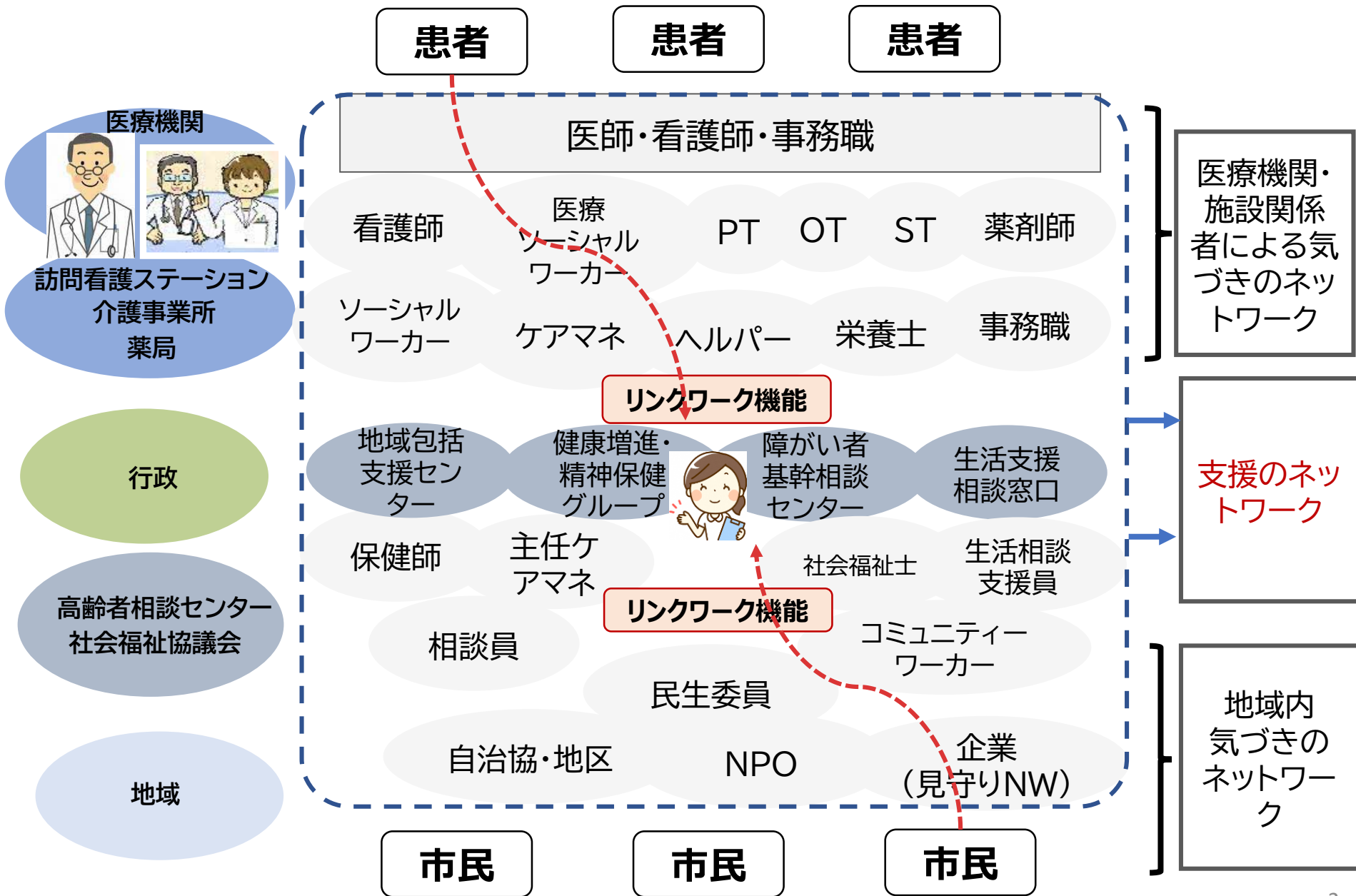
# 養父市リンクワーク機能充実のための人材 育成（まとめ）

## ・リンクワーカー養成研修

連携役1層：ヘルスコネクター

連携役2層：コミュニティコネクター

# 社会的処方におけるリンクワーク機能【イメージ】



# リンクワーカー養成研修（連携役1層：ヘルスコネクター）

○**対象** 介護福祉事業所、公立八鹿病院、社会福祉福祉協議会、県立但馬長寿の郷、養父市役所などに勤務する医療介護福祉専門職（介護支援専門員、生活支援コーディネーター、医療療養ソーシャルワーカー、保健師、看護師、相談支援員など）

○**ねらい** 社会的処方による課題解決の基本的な考え方と技術を学び、地域包括ケアや地域共生社会の実現に向けて、現場での実践に活かす

○**目標**

- ・制度に縛られない考え方の浸透
- ・社会的処方に対する共通理解
- ・専門職同士の顔の見える関係づくり

◆インフォーマルな資源を使えるようになろう！  
◆その人に合った支援って何だろう？  
◆ソーシャルワークをレベルアップしよう！

## ○研修の内容

◇テーマを明確にし、3回シリーズで開催

- 1日目：「社会的処方とは」
- 2日目：「リンクワーカーの役割」
- 3日目：「地域コミュニティ・社会資源の活用」

◇社会的処方、ソーシャルワークに精通する講師陣による講義&演習

近藤尚己氏

（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻社会疫学分野主任教授）

長嶺由衣子氏

（国立大学法人東京医科歯科大学非常勤講師）

吉江悟氏

（一般社団法人Neighborhood Care 代表理事）

佐伯亮太氏

（播磨町まちづくりアドバイザー/合同会社Roof共同代表）

3回の研修に市内で活躍する専門職が延べ126人、総勢71人が参加！

令和4年度 保険者とかかりつけ医等との協働による加入者の予防健康づくり事業

社会的処方の要

リンクワーカー 養成研修

◆インフォーマルな資源を使えるようになろう！  
◆その人に合った支援って何だろう？  
◆ソーシャルワークをレベルアップしよう！

孤立など社会的リスクを背景に持ち、健康課題を抱える住民との相談支援を通じて、健康面と社会生活面の課題解決に向け、必要な地域コミュニティや社会資源へつなぎ、住民自身が健康とウェルビーイングの改善につながるよう支援する「リンクワーカー」について学びます。

**第1回 11/25(金) 13:30～16:30**

場所 兵庫県立 但馬長寿の郷 第3,4研修室

「今、なぜ社会的処方が必要か」

講師 近藤 尚己氏 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻社会疫学分野主任教授

「実践例から学ぶ社会的処方」(オンライン)

講師 長嶺 由衣子氏 国立大学法人東京医科歯科大学非常勤講師  
吉江 悟氏 一般社団法人Neighborhood Care 代表理事

**第2回 12/16(金) 13:30～16:30**

場所 兵庫県立 但馬長寿の郷 第3,4研修室

「地域でどんな支援ができるのか～リンクワーカーの役割と求められるもの」

講師 長嶺 由衣子氏 / 吉江 悟氏 / 近藤 尚己氏

**第3回 1/20(金) 13:30～16:30**

場所 兵庫県立 但馬長寿の郷 第3,4研修室

「養父市の地域コミュニティ・社会資源の見つけ方・つなぎ方」

講師 佐伯 亮太氏 播磨町まちづくりアドバイザー  
合同会社Roof共同代表

# 研修（連携役1層：ヘルスコネクター）1日目



- ◆日時：11月25日13:30～16:30
- ◆場所：県立但馬長寿の郷第3・4研修室
- ◆テーマ：社会的処方とは
- ◆参加者：44人（アンケート回収40人）

## ◆主な内容

① 市役所からの趣旨・事業説明

② 講演

「今、なぜ社会的処方が必要か」

講師 近藤尚己氏

③ 講演

「地域における社会的処方の実践例」

講師 長嶺由衣子氏（オンライン）



適宜、グループワーク

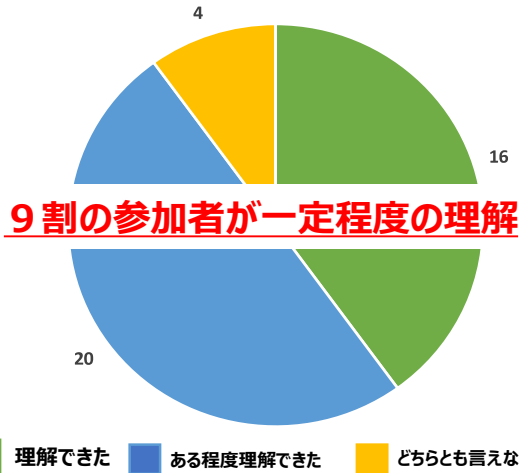




# 研修（連携役1層：ヘルスコネクター）1日目



## 質問：「社会的処方」について理解できたと感じますか（アンケートより抜粋）



- ・聞いたことのない言葉でしたが、よく理解できました。処方薬は薬だけでなくことがわかりました。
- ・ボヤーンとしていたものが少し明瞭になった。
- ・地域、専門職が一体となって地域づくりを進める意識が高まった。
- ・つながりの必要性は改めて認識できました。具体的にどうすればという点はわかりません。
- ・養父市ネットワークで今後どう進めていく？おおまかな理解はできたがイメージにいたっていない。
- ・「社会的処方」という言葉がまだ自分の中に浸透していないが、理解は進んだ。
- ・まだまだわからないことがあるので勉強したい。

## 質問：本日の研修を通じて得られた気づき（アンケートより抜粋）

- ・支援者として「つながり」がとても少ないと痛感しました。
- ・お互いの取り組みも聞け、やはり知ることが重要だと実感した。
- ・まずは動き出すことが必要。
- ・つながりを豊かにする活動の大切さが理解できた。
- ・本日のような多職種での研修が大事だと思いました。ありがとうございました。
- ・リンクワーカーは横のつながりが大切、地域でのつながり、多世代交流でのつながり、支援者間のつながり
- ・多職種が「同じ場」で「同じ事を学び」「同じ方向を向く」今日は有意義でした。
- ・自分の事（わがこと）として何が出来るか、今は支援者としてかもしれないが、いつか自分が支えられる側になる。その為につながり、エンパワーが重要。
- ・自分たちの実践知を共有したり、顔の見える関係づくりが大切、もっと広げられるなーと思いました。
- ・フォーマル、インフォーマル関係なくつながる必要があるとわかった
- ・サービスにつなぐと安心するが、その後のフォローが大切ということがわかった。まずは他の支援者とつながること。
- ・自分も市民の一人であるので仕事でない所で、自分のできることも何かあるのではないかと改めて思いました。
- ・事例を通して「何が出来るか？」「何から社会的処方」のきっかけになるか？」を気づいてやってみる大切さを感じました。
- ・「新しいもの」を作るのではなく「今あるもの」を上手に使えばしくみが作れる。

## キーワード

様々なつながり 顔の見える関係性  
できることをやってみる

# 研修（連携役1層：ヘルスコネクター）2日目



◆日時：12月16日13:30～16:30  
 ◆テーマ：リンクワーカーの役割

◆場所：県立但馬長寿の郷第3・4研修室  
 ◆参加者：38人（アンケート回収34人）

## ◆主な内容

①研修1日目のふり返り（グループワークまとめ資料）

## ②講義

「地域でどんな支援ができるのか  
 ～リンクワーカーの役割と求められるもの」  
 長嶺由衣子氏

## ③事例検討のロールプレイ

ファシリテーター 吉江悟氏  
 コメンテーター 近藤尚己氏、長嶺由衣子氏



事例検討の進め方（例）

時間	内容
5分	事例の読み込み
10分	足りない情報の確認
10分	一人ひとりの生活者としての希望を確認・想像する
10分	願いや希望を実現するための考え（妄想含む）
10分	実際の地域資源を踏まえ、これを実現する具体的なアイデアを考える
5分	総括
50分	合計



### 社会とのつながり処方箋 事例①

#### 【医療機関からの紹介内容】

- ・父親と2人暮らしの生活であったが、父親が入院中（今後施設入所の予定）。
- ・生活にメリハリもなく、近所トラブル、飲酒等あり。今後の心配。
- ・生活環境について：自宅でノミが発生。



#### 【基本情報】

- ◆64歳男性
- ◆生活圏域 大層地域
- ◆独居（母親他界、父親施設入所、妹 施設入所）、親戚関係疎遠
- ◆無職（63歳まで仕事をしていたが退職後は自宅での生活）
- ◆既往歴 高血圧症
- ◆その他
  - ・父親が利用していた緊急通報システムを独居で不安が利用中
  - ・移動手段：自転車・バス

#### ご本人の状況・意向など

- お酒はやめられないな…これだけが楽しみだから…
- コミュニケーションをとるのが苦手です手先が不器用
- できることを考えてみようかなあ…でも何が出来るかなあ…

- インドア派で外仕事は苦手新しいことにはチャレンジしにくいなあ…
- 囲碁と一緒にできる人があったらうれしいなあ

\*事例の内容は一部デフォルメしています

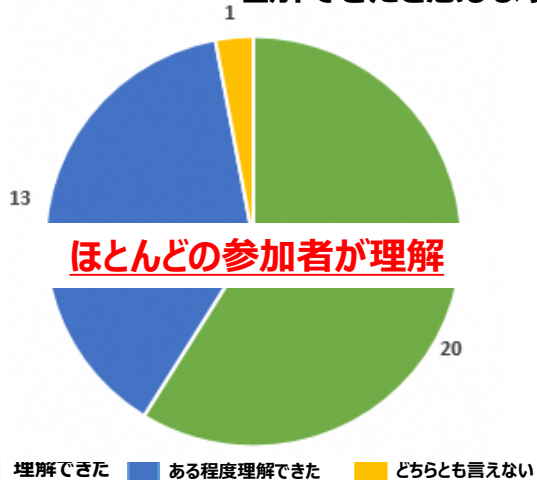


ノミが大発生 全身がかゆい〜

# 研修（連携役1層：ヘルスコネクター）2日目



質問：「リンクワーカー」について  
理解できたと感じますか



## 参加者の声（事例検討：アンケートより抜粋）

- ・外部で見ている側でしたが、いろいろ参考になったし、楽しい時間でした。あるもので解決を目指すのではなく妄想を語り合えたらもっとよかった。
- ・ひとりの生活者としての思いを大切にしながら、悩みつつ一緒に考えていく過程を共有できたと思います。
- ・何かしらの方向性を作っていくものかと思ってましたが、いい意味で裏切られた内容でした。ここまで時間をとれるケース検討はあまりないので。
- ・事例を通じて色々な視点を見ていくこと、妄想でもこんなこと、あんなことがあればいいなと思いつながりながら楽しく学ぶことができました。
- ・多職種で検討できてよかった。こういった場を今後も作れることが望ましい。
- ・多くの方の色々な方面からの考え方が聞けて良かった。自分には思いつかない考え方や気づかされる事がいっぱいあった。
- ・いろんなアイデア（妄想）を聞くことができた。
- ・色々な人の意見が聞けて良かった。

## キーワード

共有

多職種の視点

妄想

## 質問：本日の研修を通じて得られた気づき（アンケートより抜粋）

- ・ウェルビーイングの軸があることを知りました。
- ・常に解決できるわけではなく細く長くつながりつづけることが大切、伴走支援ですね。
- ・おしつけにならず、役割りが大切だと思った。
- ・地域での多くのかかわりが伴走支援でひとつのゴールという考え方はなるほどと思いました。
- ・解決＝ゴールではなく、ゴールは複数あること。知らぬ間につながっている事がたくさんある。
- ・社会的処方の方のゴールについて、何が上手くいく、ということばかり考えていたが、つながりが続くということでも良いんだと気づけた。
- ・当人の自己表現、社会生活の充実に必ずしも行政サービスの必要はなく、地域のつながりの重要性を感じた。
- ・多職種で意見交換を行うことで、支援の新たな方向性が見えてくること、リンクしていくことの必要性を改めて感じました。
- ・きっかけは誰でもよい。誰でもきっかけとなり、一歩踏み出すことでつながりが生まれる。つながりで体制が地域に出来る。
- ・ボトムアップ型で広がる（つながる）ケースが増えていったらいいなと思った。主体的に考えるための始めのきっかけづくりは専門職がする必要はあると思う。その後は資源が資源につながり広がっていくと思う。
- ・参集するメンバー、地域の方等も上手に関わってもらうことで、参加支援がスムーズになることもあると思った。
- ・「リンクワーカー」という言葉は知らないけど実践されている専門職以外の方がキーと思うので、そういった方の参加を求めます。

## キーワード

伴走支援

地域とのつながり

市民の参画



# 研修（連携役1層：ヘルスコネクター）3日目

- ◆日時：1月20日13:30～16:30 ◆県立但馬長寿の郷第3・4研修室
- ◆テーマ：地域コミュニティ・社会資源の活用 ◆参加者：44人（アンケート回収43人）

## ◆主な内容

### ①講義・演習

「養父市の地域コミュニティ・社会資源の見つけ方・つなぎ方」

講師・ファシリテーター 佐伯亮太氏

適宜、グループワーク

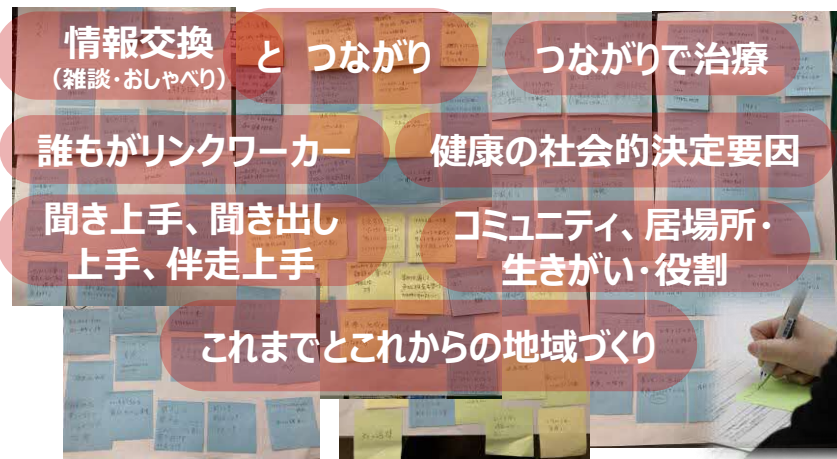
### ②まとめ

第1回～第3回のふり返り、グループワーク

3回の研修で印象に残ったことBEST3

3回の研修を受けて  
私の目標、  
意識したいこと  
実践してみたいこと

### キーワード



「リンクワーカー」という言葉が多くの専門職をつなげた



（自由意見：3日目アンケートより抜粋）様々な専門職が一堂に会したことが素晴しかった。有意義な研修だった。講師の皆さんがよかった。次年度以降も継続を。今後どんな形で動くのか、研修だけでなく、市としてどう動くのか気になる。企画や準備への労い多数。



# リンクワーカー養成研修（連携役2層：コミュニティコネクター）

- 対象 民生委員など地域で福祉活動に活躍されている方々
- ねらい 社会的処方による課題解決の基本的な考え方と技術を学び、地域包括ケアや地域共生社会の実現に向けて、地域での福祉活動の実践に活かす
- 目標
  - ・社会的処方・リンクワーク機能に対する共通理解
  - ・つながりによる地域づくりの共有
  - ・コミュニティコネクターの役割を学ぶ

## 研修の内容

- ◇日時 令和5年3月1日（水）13:30～15:30
- ◇場所 兵庫県立但馬長寿の郷 郷ホール
- ◇内容 講話  
「養父市の社会的処方  
～つながりで誰もが健康になるまちづくり～」  
講師 守本陽一医師  
兵庫県但馬県民局豊岡健康福祉事務所 職員  
（一般社団法人ケアと暮らしの編集社 代表理事）  
講話・演習  
「地域コミュニティ・社会資源の見つけ方・つなげ方」  
ファシリテーター 佐伯亮太氏  
（播磨町まちづくりアドバイザー/合同会社Roof共同代表）

令和4年度 養父市民生委員・児童委員合同研修会

## リンクワーカー養成研修

養父市では、全世代の方々が、地域や人とのつながりで、体も心も健康に生活することができる「孤立」しない社会の創造を目指しています。  
今回の研修では、「社会的処方」の考え方を基に、ヒト・モノ・コトのつながりでまちを元気にする「リンクワーカー」について学び、「地域共生社会」、「これからの福祉や地域コミュニティ」について考えます。お気軽にご参加ください。

**日時** 令和5年3月1日（水） / 13:30～15:30

**場所** 兵庫県立但馬長寿の郷 郷ホール  
（兵庫県養父市八鹿町国木 594-10）  
**講話** 養父市の社会的処方  
～つながりで誰もが健康になるまちづくり～

**講話講師** 守本 陽一氏 医師/一般社団法人ケアと暮らしの編集社 代表理事  
豊岡健康福祉事務所(豊岡保健所)企画課

**演習** 地域コミュニティ・社会資源の見つけ方・つなげ方  
**演習ファシリテーター** 佐伯 亮太氏 合同会社 Roof 共同代表/播磨町まちづくりアドバイザー / NPO 法人ジミンズ理事



# 研修（連携役2層：ヘルスコネクター）



- ◆日時：3月1日13:30～15:30 ◆県立但馬長寿の郷 郷ホール
- ◆テーマ：地域コミュニティ・社会資源の活用 ◆参加者：79名（別途職員20名程度参加）

## ◆主な内容

### ① 講話

「養父市の社会的処方 ～つながりで誰もが健康になるまちづくり～」

講師 守本 陽一氏

（医師/一般社団法人ケアと暮らしの編集社 代表理事）



### ② 講義・演習

「地域コミュニティ・社会資源の見つけ方・つなぎ方」

講師・ファシリテーター 佐伯 亮太氏（合同会社Roof共同代表）

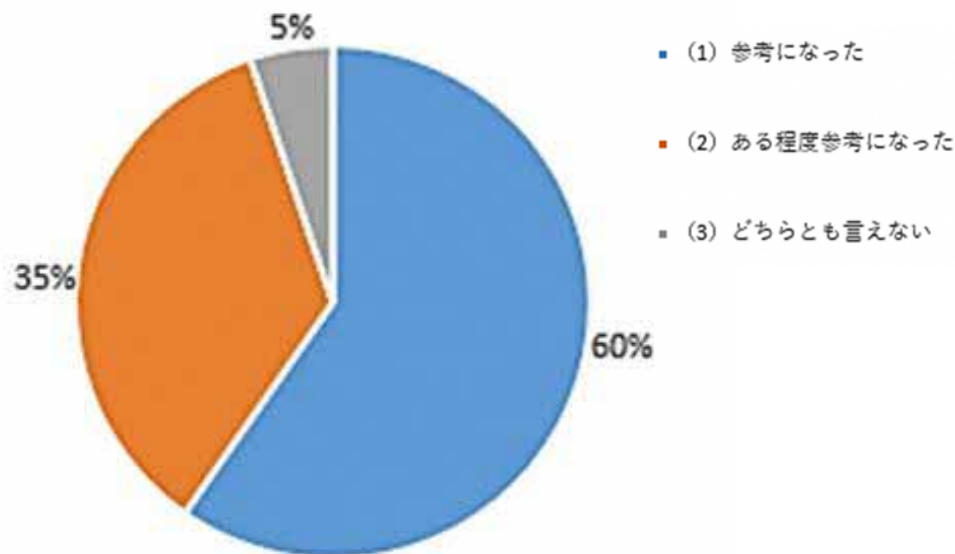
適宜、グループワーク



# 研修（連携役2層：コミュニティコネクター）



質問：本日の研修は、民生委員児童委員としての今後の活動への参考になりましたか。



## 自由記述欄（抜粋）

- ・具体的なイメージが広がった。
- ・今までそういうことはやってきた。
- ・思い切って、おせっかいでもいいかなと思った。
- ・ぼーっとはしてられないと思った。日々勉強である。
- ・委員としての関わり方が分かってきました。
- ・定例会でみんなと雑談したい。
- ・孤立している方をどうリンクしていくか。
- ・「ルーズなくらいが良い」という言葉に助けられました。
- ・定例会・部会での雑談は必要と思っています。
- ・今後の活動に活かしていきたいと思う。
- ・地域に持ち帰れる内容だった。

- ・参考になりました。今後、自身の立ち位置が見えてきた気がします。
- ・ある程度参考になりました。民生委員は何をするべきだろうとも参考にしました。
- ・地域や同じ委員のなかで、共有し次の行動のきっかけになるように思う。
- ・定例会でも、ケース検討という時間があるが、どうしても困りごと、気になる方のどうしたらよいかという話ばかりです。
- ・とても良いお話で納得もできるが、さてこれからそのつながりをもっと構えてしまう。
- ・特別なことはしなくても、今まで通りで良いというのはいけないのかなあ。
- ・他の民生委員さんとの雑談のなかで、そんなんもええなあと思うことがたくさんあった。
- ・具体的に記すのは難しいが、心・気持ちは動きました。（良い方向へ、前向きに。）
- ・集うことが健康に大切なこと。つながり、生きがい、役割、笑顔など。会で集う機会に、このようなお話を聞いたことを高齢者の方々にも伝えたいと思います。
- ・楽しく、明るく活動ができるよう、1歩ずつ前に進みたい。
- ・コロナ禍で地区のふれあい喫茶を休んでいるが、4月から月1で再開してみようと思った。